

用語解説（基本構想）

No.	用語	解説	掲載
1	ランドスケープ	風景、眺望、景観	6
2	スマートアグリ	スマートアグリカルチャー（Smart Agriculture）の略語。ロボット技術や ICT 等の最先端技術を活用し、生産管理や品質・生産効率の向上を実現する農業の試み。	6
3	6次産業	農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態。農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組として期待されている。	6
4	インキュベーション施設	創業初期段階にある起業者を支援する施設。事務所スペースを低廉で提供するほか、インキュベーションマネージャーによるコンサルティングや各種の支援施策を用意している。	6
5	IT 合宿	普段と違う環境で、集中的にソフトウェア開発などの仕事をするために行われる IT エンジニアのための合宿。	6
6	ベビーブーム	赤ちゃんの出生が一時的に急増することをいう。日本では、第 2 次世界大戦後、2 回のベビーブームがあり、第 1 次ベビーブームは 1947 年から 1949 年、第 2 次ベビーブームは 1971 年から 1974 年である。第 1 次ベビーブーム世代は「団塊の世代」、第 2 次ベビーブーム世代は「団塊ジュニア」と呼ばれている。	8
7	インターンシップ	特定の職業に対する理解を深め経験を積むために、興味のある企業や組織で実際に労働に従事する職業体験のこと。	9
8	ロックダウン	緊急事態により、人々の移動や野外活動等を政府や自治体が制限すること。	10
9	グローバル調達	諸外国におけるグローバルな各供給拠点から、モノやサービスを調達すること。	10
10	サプライチェーン	製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのこと。日本語では「供給連鎖」という。	10
11	フィジカル・ディスタンス	物理的に一定の距離を保つこと。コロナ禍により定着しつつあった「ソーシャル・ディスタンス（社会的距離）」を社会的な孤立を避ける意味から、世界保健機関（WHO）では「身体的、物理的距離の確保」を意味する「フィジカル・ディスタンス（物理的距離）」に言い換えるよう推奨している。	10
12	テレワーク	情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く勤労形態の一種。「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語。	10
13	ワーケーション	リゾート地などで休暇などをかねてリモートワークを行う労働形態。「work = 働く」と「vacation = 休暇」をあわせた造語。	10
14	ICT	インターネット・アンド・コミュニケーション・テクノロジー（Information and Communication Technology）の略。通信技術を使って人とインターネット、または、人と人がつながる技術のこと。	10
15	IoT	インターネット・オブ・シングス（Internet of Things）の略。様々な物体（モノ）がインターネットにつながり、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。	10
16	ビックデータ	従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。	10
17	AI	アーティフィシャル・インテリジェンス（Artificial Intelligence）の略。日本語では「人工知能」という。人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断をコンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。	10

No.	用語	解説	掲載
18	第4次産業革命	18世紀の最初の産業革命以降の4番目の主要な産業時代のこと。	10
19	Society5.0	狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指す。第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。第4次産業革命によってもたらされる経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。	10
20	SDGs	2015年の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性(ソーシャル・インクルージョン: social inclusion)のある社会実現のための2030年を年限とする17の国際目標。	10
21	GIGAスクール構想	GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用と個別最適化された創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想。	10
22	マルチステージ型の人生	「教育→仕事→引退」の「3ステージ型」ではなく、人生において複数のキャリアを持ち、多様な人生を歩むこと。	11
23	ライフイベント	就職、結婚、出産、子育てなどの人生の大きなできごとのこと。	13
24	QoL	クオリティ・オブ・ライフ(Quality of Life)の略。人生の内容の質や社会的にみた「生活の質」のこと。生きる上での満足度をあらわす指標のひとつ。	14
25	社会資本ストック	国・自治体などの公的機関によって整備された道路・港湾・水道・公園などの社会資本の量のこと。	15
26	インフラ	インフラストラクチャー(infrastructure)の略。道路・港湾・水道・公園などの生活や経済活動を支えるために必要な社会基盤のこと。	15
27	プライマリーバランス	プライマリーバランス(Primary Balance)。国や地方自治体などの基礎的な財政収支のこと。社会保障や公共事業をはじめ様々な行政サービスを提供するための経費(政策的経費)を、税金等で賄えているかどうかを示す指標。	16
28	アカウンタビリティ	「Accountability=説明責任」のこと。行政などが、住民や利害関係者に対し、自分自身が担当している事業の内容や状況について、より詳しく説明すること。	25
29	シティプロモーション	地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」のこと。地域のイメージ向上やブランドの確立を目指し、地元経済の活性化などを目的とした取組。	25
30	シビックプライド	地域に対する住民の「誇り」「郷土愛」とともに、住民自身が主体的に地域を良くしていこうとする地域貢献の意識のこと。	25